

令和7年度卒業生からの挨拶（2名）

平成20年度入会



㈱得居商店
得居 健

本年度卒業になりました、㈱得居商店の得居です。

平成20年、第44代黒岩会長の時に入会させていただき、今年度で卒業を迎える事となりました。入会したての頃は正直、卒業まで在籍できるとは思っていませんでしたが、紹介会員の花田勇平さんをはじめ、様々な先輩方と交流させていただき自分自身の未熟さを痛感させられました。在籍期間18年の間に様々な役職を経験させていただきました。

中でも最も記憶に残っているのはコロナウイルス感染症が大流行した時に会長職を拝命した事です。2020年4月から緊急事態宣言が発令した3カ月、会活動を休止致しました。当時はどうしていいかわからずとにかく眠れませんでした。そうした中でも協議を重ね、国の感染症対策を指針に定め、再開し集まることは叶わなくともリモートにて例会・事業を行いました。その中で先輩の皆様、会員の方々の助言やご協力があり、1年間会長職を精一杯全うすることが出来ました。周りの方々に助けられ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。卒業いたしますが青年会で出会った先輩・後輩の皆様とはこれから先も付き合いをしていただきたいと思います。

長い間、大変お世話になりました、そしてありがとうございました。

平成21年度入会



㈱筑豊産業
小野 龍平

本年度卒業になりました、㈱筑豊産業の小野です。

私が入会したのが、第45代桑原会長の2月総会の時です。16年間青年会生活を送らせていただきました。入会時の私は仕事はもちろん、社会の仕組みや人間関係など、すべてにおいて未熟で会社では単なる役立たずでした。また、プライベートでは結婚生活が始まり子供を3人授かり、仕事においては父と世代交代し代表になり生活のすべてが一変いたしました。それから、第58代会長に任命していただき、今までにない経験を沢山させていただきました。

会長時にはまだ新型コロナウイルスが収束しておらず活動に制限がございましたが、会員に支えられて来賓や特別会員の皆様の前で会長挨拶をさせていただけたことは一生忘れません。人生で一番緊張いたしました。今は週1回、2回行われていた青年会活動がなくなるのが想像つきませんが、OBになっても青年会を見守っていきたいと思います。

最後に今までお世話になりました先輩方、楽しい時間を作ってくれた後輩の皆様、本当にありがとうございました。

令和7年度入会



(有)松尾鉄工所
松尾 一寛

新入会員紹介（1名）

昨年6月に入会いたしました有限会社松尾鉄工所 松尾一寛と申します。

紹介会員の東亜工業株式会社 大田様より青年会の活動目的や魅力についてお聞きし、他企業の方々と繋がりを持ち、人として成長したく入会させていただきました。

入会して約9か月、日々の活動と事業を通して多くのことを経験させていただいております。青年会に積極的に参加し、諸先輩方よりノウハウや知識を学び吸収して自身のスキルアップ、会社の発展、そして青年会のお力になれるよう努めていきたいと思っております。

若輩者ではございますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

入会のご相談

会員拡大担当
坂田 一生

TEL : 090-5471-9709

HPのご案内



毎月の例会・事業の

写真を随時更新！
過去の瑞雲等も
掲載しています！

直方鉄工青年会 検索

関心のある方はお気軽にお問合せください！
心よりお待ちしております！



直方鉄工青年会第61代会長 吉成 雅仁

令和7年度会長スローガン

“どんな波でも乗りこなせ！”
～We are great challengers～

令和7年度第61代会長を務めさせていただきました、有限会社吉成図工舎の吉成雅仁です。平素より当会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年4月に会長を拝命して以来、「どんな波でも乗りこなせ！～We are great challengers～」というスローガンを掲げて今年度の活動を始めましたが、あっという間に1年の任期を終えようとしております。この1年を振り返りますと、社会全体では原材料価格の高騰、慢性的な人材不足、さらにはAI技術の急速な進展など、私たち製造業を取り巻く環境は大きくそして急速に変化いたしました。こうした時代の転換期に会長という大役を務めさせていただけたことは、私自身にとって大きな学びと責任を実感する貴重な経験となりました。

会活動では多くのご来賓・先輩方前で緊張の会長挨拶をさせていただいた4月通常総会・懇親会から始まり、今年度も様々な事業をおこないました。8月恒例の家族対象事業は奥様方、子供達と一緒に段ボール迷路づくりから食事会まで、全力で遊び楽しんだ事業となりました。9月の大阪万博研修旅行は、地球環境・生命・国際経済についてなどを学び、五感のすべてを刺激され、様々なことを考えさせられる事業となりました。また、6月の会員拡大事業と10月人材事業を通じて、地方の中小零細企業・青年団体での人材確保について学びました。そのほかにもデジタル化の波に乗り遅れない為にHPやSNSの最新活用法や生成AIの利用法について学ぶセミナーの開催、親睦の為の特別会員合同新年会、親睦ゴルフコンペの開催、地域交流としてまつりくらじでのテント販売などを行いました。どの事業も多くの会員に積極的に参加してもらい大変有意義な事業となりました。多忙な中でも委員会を重ね、一致団結し、素晴らしい事業を作り上げてくれた会員の皆様にはこの場を借りて心より感謝し厚く御礼申し上げます。

一方で、当会が現在直面している課題として、会員数の減少が挙げられます。これは単に人数の問題ではなく、地域産業の将来を担う仲間の減少という意味でも、真摯に向き合うべき重要なテーマであると認識しております。だからこそ本年度は「会員拡大委員会」を設け重点方針として活動してまいりましたが思うように進まなかったことが力不足であったと痛感しております。

つきましては、関係諸団体の皆さま並びに特別会員の皆様をお願いがございます。周囲に「志を同じくする若手経営者・後継者」「地域と業界の未来を本気で考えている方」がいらっしゃいましたら、ぜひ当会へのご紹介をお願いいたします。新たな仲間との出会いこそが、組織を活性化させ、次代への原動力になると確信しております。

任期を通じて感じたことは、青年会とは単なる団体ではなく、「人と人との信頼で成り立つ場」であるということです。立場や会社の規模を超え、互いに学び合い、高め合える環境は決して当たり前ものではありません。この貴重な場を未来へつないでいくことこそ、私たち現役世代の使命であると感じております。

結びに、次年度は誰にも負けない推進力とリーダーシップをもった第62代岩見会長がまた新たなつながりを作り、会の魅力を引き出し、更なる未来へこの直方鉄工青年会をつなげてくれるものと確信しております。歴史と伝統ある直方鉄工青年会のさらなる発展を遂げながら受け継がれていくよう、会長経験者としてしっかり次期会長をサポートし、チャレンジ精神をもって今後も精一杯会活動に励んでまいります。改めまして、1年間支えていただきました皆様方に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



令和7年度年間事業風景

4月
通常総会・
懇親会



5月
広報事業



10月
人材事業



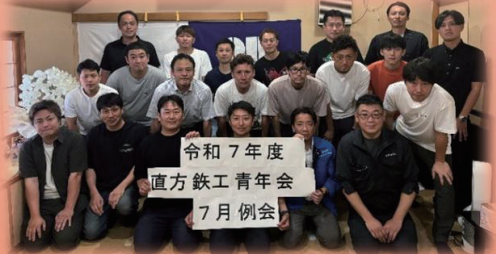
11月
経営事業



6月
会員拡大事業



7月
例会



12月
忘年会



1月
特別会員
合同新年会



8月
家族対象
事業



9月
経営事業



2月
通常総会



3月
卒業生を
送る夕べ

